

【要旨の書き方の例】

マンボウの体部分標識の使用事例  
○福山太郎<sup>1</sup>・尾道花子<sup>2</sup>・広島二郎<sup>1</sup>

【背景・目的】マンボウは、  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

【材料・方法】本研究では、  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

【結果・考察】標識を装着した結果、  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

・サイズ(A4、縦)、余白は上(35mm)、左右および下(30mm)とし、30行で記述

・演題、発表者、本文、所属の順

・所属は( )でくくり、最下段末尾に

・発表者が連名の場合は「・」で連ね、講演者の左側に ○ を付す

・所属が異なるときは、各発表者名の後ろに上付き数字を付し、所属ごとに区別

・フォントは、全角文字は明朝体(12ポイント)

・英字は Times(12ポイント)

・演題、発表者、本文、所属を含めて1ページ(800字程度)

(<sup>1</sup> 福山大生命工、<sup>2</sup>○○○)